

「地震国における災害軽減研究に関する国際シンポジウム」を開催します。
ーリアルタイム監視システム、シミュレーション、観測と教育についてー

1. 日 時 平成30年1月10日(水) 9:30~17:10 (開場 9:00)

2. 会 場 香川大学幸町キャンパス オリーブスクエア 多目的ホール (定員200名)

3. 入 場 料 無 料

4. プログラム (※本国際シンポジウムは英語発表です。同時通訳はございません。)

9:30 開会挨拶 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 機構長 吉田秀典

9:35-12:00 第一部 (座長: 香川大学 金田義行)

- ・「2016年台湾南部美濃地震に先行する微小地震活動の時空間特性」
台湾中央気象局 Hsin-Chieh Pu
- ・「2016年2月6日の台湾南部美濃地震の強震動シミュレーション」
台湾国立中正大学 Cheng-Feng Wu
- ・「ペルー・チンボテ市におけるリアルタイム津波浸水予測」
ペルー国立サンマルコス大学 Nabil J. Moggiano Aburto
- ・「地震データを用いた津波ハザード推定システム」
ロシアモスクワ大学 Sergey Kolesov
- ・「津波波形の深度積分式の適用可能性」
ロシアモスクワ大学 Mikhail Nosov

13:10~14:55 第二部 (座長: 香川大学 長谷川修一)

- ・「ネパール議会における災害リスク軽減マネジメント法 2017 承認までのロードマップ」
ヒマラヤ保全グループ Gangalal Tuladhar
- ・「災害対応ートルコの状況: MarDIM プロジェクトとカンデリ地震研究所の役割」
トルコボアジチ大学 Haluk Ozener

○ポスター発表

- ・「台湾中央気象局における有感地震情報の現状と今後」
台湾中央気象局 Nai-Chi Hsiao
- ・「台湾台南地域の微動アレイを用いた浅部 S 波速度構造と特性」
台湾国立中正大学 Huey-Chu Huang
- ・「ネパールは 2015 年ゴルカ地震から何を学んだか？」
ネパールトリブバン大学 Ranjan Kumar Dahal
- ・「地震時の海底圧力変動と加速度の関係」
ロシアモスクワ大学 Viacheslav Karpov
- ・「香川県における企業の事業継続計画の取組みと各事業の復旧の必要性」
香川大学 磯打千雅子・寒川卓治

15:15-17:05 第三部 (座長: 香川大学 白木渡)

- ・「災害状況再現・対応能力訓練システムの開発と学校教員を対象とした地震発生時の対応訓練の実践」
香川大学 高橋亨輔
- ・「地震・津波による広域被害の迅速な把握を可能にする構造物の動的応答シミュレーションの開発」
徳島大学 中田成智
- ・「海底ネットワークと防災への利活用」
防災科学技術研究所 高橋成実
- ・「南海トラフ地震震源域での海底孔内観測によるスロースリップのモニタリング」
海洋研究開発機構 荒木英一郎
- ・「レジリエンスサイエンスとレジリエンスな社会」
香川大学 金田義行

17:05 閉会挨拶 香川大学副学長 徳田雅明

5. 主催 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

6. お問い合わせ先

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

TEL: 087-864-2544, FAX: 087-864-2549, E-mail: kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

HP: <http://www.kagawa-u.ac.jp/iecms/>